

皮膚科

■入交 純也 皮膚科部長

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医

■荻野 千秋 (非常勤)

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医

■田中 公美 (非常勤)

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医

展望

昭和63年11月の当院開院時には、皮膚科は開設されていなかった様であるが、皮膚科診療開始時期に関する記録がないため、詳細は不明である。調べ得た限り最も古い記録は、平成元年6月26日、60歳女性の接触皮膚炎であった。

近年は順天堂大学、東邦大学大森病院、東京医科歯科大学から曜日ごとに非常勤医師が来院し、診療にあたった。平成10年7月より東京医科歯科大学から常勤医師1名が派遣されることになり、渡邊憲医長が赴任、三学からの非常勤医師と共に外来患者、入院患者、外来手術、訪問診療（地域医療部）などの診療にあたった。平成11年3月、渡邊医長は横須賀市立市民病院に異動し、東京医科歯科大学からの二代目医長として入交純也が赴任した。この後も、常勤医師1名と日替りの非常勤医師という変則的な診療体制が続いていたが、平成15年7月より荻野千晶医師が常勤として赴任、週1回の東京医科歯科大学からの非常勤医師と共に3名で診療を行っていた。非常勤医師としては、中村悟医師、並木剛医師、大井三恵子医師、田中智子医師、田中公美医師、根本威志医師、山下朋子医師が診療にあたった。平成17年9月より荻野医師が休業、非常勤医師の診療中止、入交のみで診療を行い、同年12月からは非常勤の沖山奈緒子医師と診療を行った。翌平成18年8月から同年12月まで非常勤で小笠原彩医師が加わり、また同年10月より

荻野千晶医師が非常勤医師として復帰、平成21年7月より田中公美医師も非常勤で復帰、平成23年2月より沖山医師から森下綾子医師に交代、平成24年2月、3月は森下医師に代わり上野真紀子医師、4月より栂沢未佳子医師に交代、平成25年4月より6月まで渡部梨紗医師に交代、7月のみ種瀬朋美医師が診療し、現在は常勤1名、非常勤2名の体制である。また荻野医師は、湘南かまくらクリニックでも非常勤医師として診療を行っている。（入交：月～金 午前、荻野：月・水 午前、田中：火・木 午前、※湘南かまくらクリニック 荻野：火・木 午前）

平成15年4月1日付けで日本皮膚科学会認定皮膚科専門医研修施設として認定された。

平成16年10月、荻野千晶医師が専門医に認定された。

平成18年8月、外来診察室が西側から東側旧内視鏡室跡へ移動した（山崎旧病院）。

平成19年10月21日付けで、入交医長が皮膚科部長を命じられた。

平成22年、日本皮膚科学会専門医研修制度の改正に伴い、東京医科歯科大学医学部附属病院、及び東京都立墨東病院を主研修施設とする、一般研修施設として認定された。

同年、日本皮膚科学会よりTNF α 阻害薬使用施設として承認された。

平成22年9月岡本新病院移転後は3階で外来診療を行っていたが、平成25年10月2階内視鏡センターの一部を改装して移転した。

外来患者は接触皮膚炎、蕁麻疹、足白癬など様々であり、また入院患者は大半が帯状疱疹で、入院期間は1週間前後であることが多く、その他に水痘、カポジ水痘様発疹症、水疱性類天疱瘡、落葉状天疱瘡

なども散見される。

今後も引き続き、皮膚科としての診療のみならず、薬疹、褥瘡などの他科からの依頼、訪問診療や、研修医教育、褥瘡対策委員会、保険委員会などの活動にも、力を注いでいく予定である。

診療実績

年間総外来患者数	10,145人
年間総新患者数	241人
年間総入院患者数	11人
年間外来手術件数	18件
年間生検件数	43件